

<p>研修名</p>	<p>自殺対策支援者研修「うつ病の早期介入と自殺予防」 ～「メンタルヘルス・ファーストエイド」の理解と活用～</p>
<p>講師</p>	<p>九州大学病院 精神科神経科 准教授 加藤 隆弘 先生 福岡大学大学院 人文科学研究科 臨床心理士・公認心理師 浦田 裕美 先生</p>
<p>開催日時</p>	<p>令和3年10月26日(火) 14:00～17:00</p>
<p>開催場所</p>	<p>北九州市総合保健福祉センター「アシスト21」2階 講堂</p>
<p>参加者数</p>	<p>36名(職種:保健師、看護師、介護支援専門員、教員、社会福祉士など)</p>
<p>研修の内容等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各種相談窓口や機関において相談支援に従事する人を対象に「メンタルヘルス・ファーストエイド(こころの応急処置)」を紹介し、さらに相談支援の現場においてうつ病など心の不調を抱えている人への対応について解説しました。 ・それぞれの現場で活かしていただくことを目的に、講義形式で「メンタルヘルス・ファーストエイドとは何か」や、うつ病などの疾患について説明したのち、演習形式(ロールプレイ)で「傾聴」や「リスク評価」を体験していただきました。また、ロールプレイ後にはリフレッシュ方法のひとつとしてスワイショウを行いました。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>参加者の声</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相談時の対応や声かけについて、改めて学ぶことができました。 ・相談を受けている中で精神症状を感じる方が多いので、生活安定の支援とともに受診をアドバイスすることも取り入れてみたい。 ・最後の運動(スワイショウ)がとても良かったです。 ・ロールプレイは緊張感もあり、また相手のスキルもいただき、いい時間をいただきました。 ・傾聴から先に進むことができなかったなので、情報提供の仕方が分かってよかった。